

素顔よと顔

小名浜包装資材 代表取締役社長

ふみのぶ
小沼 郁互さん

5



プロフィール

おぬま・ふみのぶ

1965年8月10日、小名浜生まれ。立教大学法学部卒。会社は1967年に父・秀男さんが創業。3年後に有限会社となり、1976年に株式会社に改組。自身は2002年に代表取締役社長に就任した。現在、従業員数は全体で85人。

来年4月からは同友会代表幹事。小名浜まちづくり市民会議で会長を務めるなど、地域活動にも尽力。

いわき市小名浜林城字榎町8-1。電話 0246-58-2468

掲げる「社員の笑顔」

油にまみれ、亡父の跡継ぐ

包装資材を中心に、さまざまな企業活動の消耗品を取り扱う総合容器商社「小名浜包装資材」。縁の下の力持ち企業として、半世紀以上の歩みを続ける。社長の小沼郁互さん（五八）は、同社のかじ取りに努めながら、地元経済団体などでも尽力。根底にあるのは、受けた恩に対する感謝の思い。

“汗と時間”で恩返し

来春から経済同友会「代表」

▽主力商品のパッケージを含め、事業の現状は

▼いわき、水戸（茨城）、宇都宮（栃木）の三営業所と市中央卸売市場店が拠点で、顧客は二千社ほど。紙やプラスチックなどを素材とする消耗品も扱うので、どの企業や事業所も顧客対象になりますね。

仕入れ先は全国で約二百六十社あり、何でも調達できる可能性がります。取り扱量は、商品コードとしては三万種を超えるかな。

洋服にはやり廃りがあるように、商品にも流行があるんですよ。例えば、一時期は食品パッケージに出汁を表す金色を使うことが多い、なんてこともありました。

▽近年は環境意識が高まっています、影響は
▼「減プラ」が叫ばれ、容

器の厚さを薄くしたり、サイズダウンしたり、ということはありません。また、リサイクルのためトレー回収にも取り組んでいます。

でも、環境への影響は三十年前から言われていました。最近のことではないんです。そこで大切なのは、物事の本質を捉えること。減プラの流れで紙の素材を使う場合、生産エネルギーの総量はどうか、輸送負担はどうか、などをトータルで考えなければならぬ。

そういう部分では、例えば発泡スチロールなんかは、もともと環境に良いように作られているんですよ。

▽入社のかきつけ
▼会社は父が一九六七（昭和四十二）年に創業しました。もともとは魚を販売していたのですが、お客さんから使っていた包装資材を求められたのがきっかけだったようです。

父は私が十一歳の時に亡くなりましたので、入社は跡を継ぐため。大学卒業後に東京の包装資材加工メーカーに勤め、汗と油にまみれ、体を動



取り扱うパッケージなどを点検。仕入れ先は全国で260社を数え、商品は3万種を超える

かしながら加工について学びました。戻ってきたのは二十九歳のころ。とても良い経験になりましたね。

▽苦勞という面はどうでした

▼人間は二つの道を歩けるわけじゃないんです。自分としては、こちらの道を歩いてきただけ。母が歯を食いました

▽経営上のモットーについて

▼「みんな笑顔でいられるといいな」とは思っています。それは、やり遂げる楽しさやお客さんからの感謝から生まれるもの。お客さんを助けるには会社が存続することも大

切だから、利益を上げること

も当然考えます。

▽仕事以外にも、さまざま

な取り組みをされていますね

▼現在はいわき経済同友会の

副代表幹事、小名浜まちづくり市民会議の会長で、JC（青年会議所）でも活動しました。

役職を引き受けるのは、先輩から教わったことではありませんが、「ありがとう」という思いを自分の汗と時間で返



いわき経済同友会の臨時総会で、あいさつをする小沼社長

すため。

経済同友会のメンバーはお客さんでもありますし、街に育ててもらったり、子どもを育ててもらったりもしています。できることがあるのなら、させていただけます。

▽来年の四月からは同友会の代表幹事です

▼同友会は、異業種交流を通じた地域経済圏づくりなどが理念。循環する地域経済構造の構築、住みたいまちづくり、イキイキと働ける企業づくりなどを目指しています。

時代に合ったやり方も重要。これは企業も団体も同じですが、それが分かっている、どうしたらいいかが分からないんです。だから、仮説を立ててやってみることが大事だと思っています。

ひと言

若いころの「苦勞」や経験の大切さを熱心に語った一方、「時代に合った取り組みが必要」と話す視点は俯瞰（ふ

かん）的で、口調は冷静。自身の性格を「優柔不断」と評したが、割り切りの良さもあるのだろう。無駄を排する決断力が、企業経営などに生かされているのだと感じた。

（鷹）

就職に強い!! 「コンカレ」

楽しい毎日×充実した学び

高い就職率! 平成25～令和4年度は10年連続で100%!
R6年春、全コンピュータシステムが最新に!

区分	出願期間	試験日
入試日程	第3期募集(指定校推薦・推薦・一般)	11/20(月)～12/6(水)
	第4期募集(指定校推薦・推薦・一般)	12/14(木)～令和6年1/18(木)
	社会人対象(推薦入試・一般入試)※受験料免除	随時受付中
		随時実施

ロボット教材
NAO ヒューマノイドロボット

ドローン
Phantom 4 Pro+

最新のコンピュータシステムや、先端教材を使って技術を身に付けられます!(ヒューマノイドAIロボット、IoTデバイス、ドローン、MR、3Dスキャナ、レーザー加工機など)

いわきコンピュータカレッジ
〒971-8185 福島県いわき市泉町4-13-12 E-mail info@iwaki-cc.ac.jp

いわきコンピュータカレッジは、厚生労働省が情報処理技術者の養成を目的として全国に設置したカレッジのひとつです。地域の産業を支える情報技術者を養成する施設として平成3年4月に開校いたしました。理事長は、いわき市長です。卒業生1,500人以上が地域で活躍しています。

コンカレ ホームページ